

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	波岸康幸
		全体計画				経費区分		-		内線	3630
事務事業名	10600 公民館整備事業										
所 属	130600 社会共創部・中央公民館										
施 策	04011800 生涯学習の機会充実										
予算 科目	会計	00 ****									
	科目	XXXXXX ****・*****・*****									
	事業	xx0000 公民館整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
地域公民館の老朽化に伴う改修等						<p>東日本大震災並びに長野県北部を中心とする地震発生以降、地域の中での公民館の役割が見直されてきている。また、地域公民館は料理実習室やホールがあるため、有事の際は避難所としての活用ができる。公民館の設置者は、社会教育法第21条で市町村とされている。公民館は、これからの共創にむけて、また、地域づくりや地域振興面からも必要であり、維持改修を計画的に行う。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
日滝地域公民館の解体及び建替え工事。 豊丘地域公民館の建替え工事。	旧豊丘地域公民館解体工事。 日滝地域公民館太陽光発電設備設置工事。 豊丘地域公民館太陽光発電設備設置工事。 中央公民館防災施設整備工事。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
中央公民館防災施設整備工事（28年度繰越事業）	実施事業無し
平成31年度 予定	平成32年度 予定
未定	未定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		24,902	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		24,902	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	714.9	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.0
総額		25,616.9	0.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	24,902	中央公民館防災施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	有事の際の避難所として施設の整備は必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	利用者にとって大変利用しやすくなった	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	有利な起債の活用を図った	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の老朽化に伴い、緊急性、安全性の観点から必要な整備は計画的に実施していく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
事業完了		利用者が安全・快適に使用できるよう、今ある施設を大切に、適宜改修など行いながら使っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	